

第38回理学療法士作業療法士国家試験不適切問題

(平成15年3月2日実施)

共通問題

問題番号(39)

問題39 平面関節はどれか。

- 1 . 肩関節
- 2 . 肩鎖関節
- 3 . 胸鎖関節
- 4 . 仙腸関節
- 5 . 股関節

解：2と4が該当

不適切と思われる理由

肩鎖関節は「平面関節」に分類されているが、仙腸関節を「平面関節」に分類する文献と「半関節」に分類する文献がある。したがって、以下に示す「参考とする文献」では「平面関節」に分類されており、問題の解答が複数解となり、不適切と思われる。

参考とする文献

奈良・鎌倉監修：標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 . P150, 医学書院, 2001
金子丑之助 著：日本人体解剖学上巻(改訂19版) . P185, P203, 南山堂, 2001
渡辺正仁 監修：理学療法士・作業療法士・言語療法士のための解剖学(第3版) . P126, P139, P151, 廣川書店, 平成11年

第38回理学療法士作業療法士国家試験不適切問題

(平成15年3月2日実施)

共通問題

問題番号(55)

問題55 我が国で発生頻度が最も高い肺がんはどれか。

- 1 . 腺がん
- 2 . 扁平上皮がん
- 3 . 腺扁平上皮がん
- 4 . 大細胞がん
- 5 . 小細胞がん

解：1と2の選択が困難

不適切と思われる理由

「腺がん」と「扁平上皮がん」の発生率は、ほぼ同様とする参考文献があり、選択することが困難であり、不適切と思われる。

参考とする文献

奈良・鎌倉監修：標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 病理学．P129，医学書院，2000
井村裕夫：わかりやすい内科学．P68，文光堂，2002

第38回理学療法士作業療法士国家試験不適切問題

(平成15年3月2日実施)

共通問題

問題番号(75)

問題75 解離症状でないのはどれか。

1. 健忘
2. 昏睡
3. 遁走
4. 離人症状
5. 多重人格

解：2と4が該当する

不適切と思われる理由

「昏睡」については、解離症状として述べられることはなく、類似の症状に解離性昏迷、意識障害の症状としては解離性もうろう状態が述べられている。また、一般に解離症状で起こるのは、「ある程度」の意識障害である。したがって、2が選択できる。

「離人症状」は、ICD-10では他の神経症性障害に分類されており、4も選択できる。しかし、DSM-IVでは解離症状の一つとして分類されている。

したがって、選択が困難であり、不適切と思われる。

参考とする文献

上野武治 他：標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 精神医学．医学書院，2001

大熊輝雄：現代臨床精神医学．金原出版，2000

上島国利 丹羽真一：NEW精神医学．南江堂，2001